

## 連結貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	65,301,342	固定負債	10,230,986
有形固定資産	59,300,345	地方債等	10,687,336
事業用資産	34,495,141	長期未払金	9,898
土地	23,068,642	退職手当引当金	379,825
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	127,124	その他	△ 846,073
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	480,333
建物	26,957,899	1年内償還予定地方債等	168,289
建物減価償却累計額	△ 16,438,308	未払金	24,273
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	24,271,688	前受金	-
工作物減価償却累計額	△ 23,553,718	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	170,539
船舶	143	預り金	3,140
船舶減価償却累計額	△ 115	その他	114,092
船舶減損損失累計額	-	負債合計	10,711,319
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	67,102,807
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	△ 10,163,706
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	172,723		
その他減価償却累計額	△ 117,689		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	6,753		
インフラ資産	24,183,576		
土地	322,128		
土地減損損失累計額	-		
建物	3,867,456		
建物減価償却累計額	△ 1,408,926		
建物減損損失累計額	-		
工作物	62,461,272		
工作物減価償却累計額	△ 41,258,954		
工作物減損損失累計額	-		
その他	1,258,218		
その他減価償却累計額	△ 1,057,619		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	2,117,306		
物品減価償却累計額	△ 1,495,678		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	11,757		
ソフトウェア	7,231		
その他	4,527		
投資その他の資産	5,989,239		
投資及び出資金	53,033		
有価証券	-		
出資金	53,033		
その他	-		
長期延滞債権	111,055		
長期貸付金	248		
基金	5,813,946		
減債基金	1,300,015		
その他	4,513,931		
その他	10,957		
徴収不能引当金	-		
流動資産	2,349,078		
現金預金	1,381,063		
未収金	127,432		
短期貸付金	-		
基金	1,801,465		
財政調整基金	1,801,465		
減債基金	-		
棚卸資産	2,714		
その他	△ 942,429		
徴収不能引当金	△ 21,167		
繰延資産	-	純資産合計	56,939,101
資産合計	67,650,420	負債及び純資産合計	67,650,420

## 連結行政コスト計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額
経常費用	15,261,640
業務費用	7,885,178
人件費	2,588,997
職員給与費	2,287,550
賞与等引当金繰入額	116,908
退職手当引当金繰入額	117,529
その他	67,011
物件費等	4,718,118
物件費	2,304,670
維持補修費	500,182
減価償却費	1,903,339
その他	9,927
その他の業務費用	578,062
支払利息	148,573
徴収不能引当金繰入額	2,060
その他	427,429
移転費用	7,376,462
補助金等	4,236,767
社会保障給付	2,887,373
その他	252,322
経常収益	2,792,389
使用料及び手数料	1,165,542
その他	1,626,847
純経常行政コスト	12,469,252
臨時損失	309
災害復旧事業費	-
資産除売却損	309
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	16,691
資産売却益	16,691
その他	-
純行政コスト	12,452,869

## 連結純資産変動計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	57,349,076	67,480,994	△ 10,131,918	-
純行政コスト(△)	△ 12,452,869		△ 12,452,869	-
財源	11,853,633		11,853,633	-
税金等	9,424,818		9,424,818	-
国県等補助金	2,428,816		2,428,816	-
本年度差額	△ 599,236		△ 599,236	-
固定資産等の変動(内部変動)		△ 317,967	317,967	
有形固定資産等の増加		1,013,734	△ 1,013,734	
有形固定資産等の減少		△ 1,979,076	1,979,076	
貸付金・基金等の増加		778,071	△ 778,071	
貸付金・基金等の減少		△ 130,697	130,697	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	△ 59,724	△ 59,724		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	486,815	△ 1,920	488,735	-
その他	△ 237,831	1,422	△ 239,254	
本年度純資産変動額	△ 409,976	△ 378,188	△ 31,788	-
本年度末純資産残高	56,939,101	67,102,807	△ 10,163,706	-

## 連結資金収支計算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	13,180,126
業務費用支出	5,855,442
人件費支出	2,466,263
物件費等支出	2,821,534
支払利息支出	148,573
その他の支出	419,071
移転費用支出	7,324,685
補助金等支出	4,236,767
社会保障給付支出	2,887,373
その他の支出	200,544
業務収入	14,628,345
税収等収入	9,409,836
国県等補助金収入	2,428,768
使用料及び手数料収入	1,168,312
その他の収入	1,621,428
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	1,448,218
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	1,602,445
公共施設等整備費支出	936,720
基金積立金支出	665,725
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	△ 36,912
国県等補助金収入	13,122
基金取崩収入	△ 67,586
貸付金元金回収収入	420
資産売却収入	17,129
その他の収入	3
投資活動収支	△ 1,639,357
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	1,188,046
地方債等償還支出	1,187,950
その他の支出	96
財務活動収入	1,306,791
地方債等発行収入	1,306,791
その他の収入	-
財務活動収支	118,745
本年度資金収支額	△ 72,395
前年度末資金残高	1,021,410
比例連結割合変更に伴う差額	430,479
本年度末資金残高	1,379,494
前年度末歳計外現金残高	1,563
本年度歳計外現金増減額	6
本年度末歳計外現金残高	1,569
本年度末現金預金残高	1,381,063

## 注 記

### 1 重要な会計方針

#### ①有形固定資産等の評価基準及び評価方法

開始時における有形固定資産等の評価は原則として取得原価とし、取得原価が不明なものは原則として再調達原価としています。  
ただし、取得価格が不明な道路、河川および水路の敷地等は備忘価格1円としています。  
また、物品は原則として取得価格50万円以上（美術品は300万円以上）のものを計上しています。  
なお、開始後については、評価は原則として取得原価とし、再調達は行わないこととしております。

#### ②有価証券等の評価基準及び評価方法

・出資金のうち、市場価格があるものは、会計年度末における市場価格をもって貸借対照表価額としています。  
・出資金のうち、市場価格がないものは、出資金額をもって貸借対照表価額としています。  
ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状態の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしています。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下したとき」に該当するものとしています。

#### ③有形固定資産等の減価償却の方法

・有形固定資産（事業用資産、インフラ資産）  
定額法を採用しています。  
・無形固定資産  
定額法を採用しています。

#### ④引当金の計上基準及び算定方法

・徴収不能引当金  
過去3年間の平均不納欠損率により計上しています。  
・賞与引当金  
翌年度6月支給予定の期末・勤労手当のうち、全支給対象期間に対する本年度の支給対象期間の割合を乗じた額を計上しています。  
・退職給付引当金  
地方公共団体財政健全化法における退職手当支給額に係る負担見込額算定方法に従っています。  
・損失補償引当金 地方公共団体財政健全化法における損失補償債務等に係る一般会計等負担見込額算定方法に従っています。

#### ⑤リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています（少額リース資産及び短期のリース取引には簡便的な取扱いをし、通常の賃貸借に係る方法に準じて会計処理を行っています）。

#### ⑥資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。  
このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いも含んでいます。

#### ⑦その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

・消費税等の会計処理  
税込方式によっています。

### 2 重要な会計方針の変更等

重要な会計方針の変更はありません。

### 3 重要な後発事象

該当する事象はありません。

### 4 偶発債務

該当する債務はありません。

### 5 追加情報

#### ①対象範囲（連結対象とする団体）

全体財務書類に、次の一部事務組合の財務書類を連結しています。

・山梨県市町村総合事務組合	比例連結割合：各事業毎の割合による
・山梨県後期高齢者医療広域連合	比例連結割合： 2.26%
・峡南広域行政組合	比例連結割合： 24.83%
・身延町早川町国民健康保険病院一部事務組合（飯富病院）	比例連結割合： 58.78%
・峡南衛生組合	比例連結割合： 74.17%

②地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③表示単位未満の金額は四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。